

基本目標No.	5	基本目標名	豊かな自然と共生したまち
施策No.	38	施策名	廃棄物の抑制とリサイクルの推進
主管課名	環境安全課		
関係課名			

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみに対する意識が高まり、減量化、リサイクルの取組みが進むことにより、ごみが減少しています。 ・効率的なごみの収集・運搬・処理体制が確立し、廃棄物が適正に処理されています。
-----------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市 事 業 民 所	<ul style="list-style-type: none"> ・3R活動に取り組みます。 ・ポイ捨てなど不法投棄はしません。 ・事業所は、ごみの減量に取り組み、自らの責任において処理します。
	行 政	<ul style="list-style-type: none"> ・3R活動(リデュース、リユース、リサイクル)が市内全家庭に浸透し実践されるよう普及、啓発活動を行います。 ・効率的かつ適正にごみの収集・運搬・処理を行います。 ・資源物が効率的、適切に回収されるよう環境(収集体制、施設等)を整備します。
	そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・資源物の集団回収を行います。

市民意識調査結果	<p>< 施策満足度調査結果 ></p> <table border="1"> <tr> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> <tr> <td>0.507</td> <td>0.416</td> <td>0.443</td> <td>0.384</td> <td></td> </tr> </table>	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	0.507	0.416	0.443	0.384		
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度							
0.507	0.416	0.443	0.384									
<p>< 施策重要度調査結果 ></p> <table border="1"> <tr> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> <tr> <td></td> <td>0.838</td> <td>0.907</td> <td>0.802</td> <td></td> </tr> </table>	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		0.838	0.907	0.802			
23年度	24年度	25年度	26年度	27年度								
	0.838	0.907	0.802									

施策のトータルコスト	区 分	単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	8 (8)	8 (8)	8 (8)	
うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	6 (6)	5 (5)	5 (5)		
うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	2 (2)	3 (3)	3 (3)		
うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—					
うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—					
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	250,517	258,584	262,462		
うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	224,496	225,329	233,452		
うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	26,021	33,255	29,010		
うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—					
うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—					
C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	16	17	17		
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	2,840	2,840	3,220		
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	—	12,493	11,911	14,110		
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	263,010	270,495	276,572		
効率性指標	市民1人あたりにおける施策の	円	—	—	5,653	5,872	6,026	
	G. 事業費 (定義式 : B/人口)							
	同 上	円	—	—	282	270	324	
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)							
同 上	円	—	—	5,935	6,143	6,350		
I. トータルコスト (定義式 : F/人口)								
参考	1時間あたりの平均人件費	円	—	—	4,399	4,194	4,382	
	魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	—	44,315	44,036	43,555	

基本事業概要シート①

施策No.	38	施策名	廃棄物の抑制とリサイクルの推進
基本事業名①	ごみの発生抑制と減量化の推進		
基本事業①の目的(意図)	市民(各家庭)、事業者への啓発を通じて、さらなるごみの排出抑制と減量・分別の徹底を図ります。		
平成26年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【ごみ集積場及び資源物集積場設置補助事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会等が、固定型のごみ及び資源物のステーションを新設、更新する際に、設置に係る費用の一部を補助しました。(H26:14件 補助率1/3 上限5万円) <p>【一般廃棄物収集運搬事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般家庭から出されるごみ(もやせるごみ、もやせないごみ、金属粗大ごみ等)を適切に収集、処理施設への運搬を行いました。また、地区等で行われた清掃ボランティア活動により回収されたごみ等の収集、運搬を行いました。 <p>【不法投棄廃棄物処理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄物や海岸漂着物などの処理困難物を迅速、適切に処理しました。 		

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
排出ごみ(家庭系)1人1日あたりの量	g	601.7	596.8 585.4	591.8 596.2	586.9 604.1	581.9 589.7	577.0 592.4	572.0	542.0
事業系一般廃棄物の量	t/年	4,902	4,865 4,853	4,832 4,833	4,798 4,814	4,764 4,661	4,731 4,551	4,700	4,400

基本事業①を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業)

No.	会計名	事務事業名	平成26年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	環境衛生推進事業	2,505,000	2,360,277	144,723	-	環境安全課
2	一般会計	◎ 一般廃棄物収集運搬事業	202,753,899	201,165,069	1,588,830	B	環境安全課
3	一般会計	◎ ごみ集積場及び資源物集積場設置補助事業	750,000	646,000	104,000	B	環境安全課
4	一般会計	し尿収集事業	29,243,000	29,094,047	148,953	-	環境安全課
5	一般会計	◎ 不法投棄廃棄物処理事業	410,000	186,354	223,646	B	環境安全課
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
31					0		
32					0		
33					0		
34					0		
35					0		
合 計			235,661,899	233,451,747	2,210,152		

基本事業概要シート②

施策No.	38	施策名	廃棄物の抑制とリサイクルの推進
基本事業名②	リサイクルの推進		
基本事業②の目的(意図)	各家庭から出されるごみの減量とあわせ、市民が資源物を出しやすい環境を整え、容器包装などの資源物のリサイクルを推進します。		
平成26年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【資源物収集運搬管理事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区等の資源物ステーション及び常設資源物ステーション(市内6施設)に出された資源物を適切に収集、中間処理を行い、リサイクル事業者へ適切に引き渡しました。 <p>【資源物集団回収推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源物を回収し、再生資源回収事業者へ引き渡した団体に対し、引き渡し量に応じて報奨金を交付しました。(2.5円/kg) 		

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
資源物収集量	t/年	1,944	2,003 2,007	2,063 2,063	2,122 2,072	2,181 2,131	2,241 2,252	2,300	2,800
分別リサイクル率	%	16	17 17	18 18	18 17	19 18	19 19	20	25

基本事業②を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業)

No.	会計名	事務事業名	平成26年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	◎ 資源物集団回収推進事業	2,021,568	1,973,502	48,066	B	環境安全課
2	一般会計	◎ 資源物収集運搬管理事業	27,191,101	27,036,815	154,286	B	環境安全課
3	予算なし	常設資源物ステーション拠点整備事業	0	0	0	-	環境安全課
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
31					0		
32					0		
33					0		
34					0		
35					0		
合 計			29,212,669	29,010,317	202,352		

施策No.	38	施策名	廃棄物の抑制とリサイクルの推進
-------	----	-----	-----------------

26年度の 評価結果 (基本事業 の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)
	<p>【①ごみの発生抑制と減量化の推進】</p> <p>◆1人1日当たりのごみ排出量は、ほぼ横ばいで推移していますが、平成26年度は、前年比1.0%のプラスとなり、目標値(H26目標値577.0g 実績592.4g)に届きませんでした。また、事業系のごみ量は、市の目標値前後で推移していましたが、平成26年度は、前年比2.4%のマイナスとなり目標値(H26目標値4.731t/年 実績4.551t/年)を達成しています。</p> <p>◆資源物収集量は、緩やかな増加傾向にあり、市の目標値をほぼ達成しています。また、分別リサイクル率も同様な状況です。</p> <p>【②リサイクルの推進】</p> <p>◆廃棄物の抑制とリサイクルの推進については、市民意識調査において、高い満足度を保っています(満足度3位)。</p>
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (26年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)

【①ごみの発生抑制と減量化の推進】
<ごみ集積場及び資源物集積場設置補助事業>
◆固定型のごみ及び資源物ステーションを新設、更新する地区等に対して、14件の補助を行いました。(補助率1/3 上限5万円)
<一般廃棄物収集運搬事業>
◆一般家庭から出されるごみは、適切に収集、処理施設への運搬を行いました。市民へは、ごみの減量化や分別の徹底について指導しました。また、地区等で行われる清掃ボランティア活動に対しては、ボランティア袋の提供、回収されたごみ等の収集、運搬などの支援を行いました。
<不法投棄廃棄物処理事業>
◆不法投棄物や海岸漂着物などの処理困難物を迅速、適切に処理しました。上野方地区において、長年、山中に不法に投棄され堆積した不法投棄物を、地域住民と連携して引き揚げ、処理しました。

【②リサイクルの推進】
<資源物収集運搬管理事業>
◆地区等の資源物ステーション(市内162箇所)及び常設資源物ステーション(市内6施設)に出された資源物を収集し、リサイクル事業者へ適切に引き渡しました。また、平成23年9月から「使用済み小型家電回収ステーション」で開始した使用済み小型家電の回収については、「小型家電リサイクル法」の平成25年4月1日施行に合わせ、パソコンの回収も始めています。小型家電の収集量は、平成26年度は41,210kgとなり、前年度に比べ約16%増加しています(H25 35,580kg)。さらに、民間事業者による衣類のリサイクルについても平成25年度から実施されています。
<資源物集団回収推進事業>
◆資源物回収を行った団体へ報奨金を交付しました。(H26:94団体 789t)

3. 施策の課題認識及び取り組み状況
(前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)

【①ごみの発生抑制と減量化の推進】
◆ごみの減量化や資源物のリサイクルの取り組みは、市民等のごみに対する意識の高まりから進み、概ね市の目標値で推移しています。しかしながら、排出されているごみの中にはリサイクル可能な資源物が混在しているため、引き続き魚津市環境保健衛生協会等と連携して、3R活動やマイバッグ運動の推進(レジ袋の削減)等の普及、啓発を図りごみの発生抑制と減量化に努めていきます。
◆市内各地で発生する不法投棄に対しては、環境巡視員、環境キーパーによる監視や地区防犯パトロール員の協力による巡視を行うなど防止活動を強化していきます。また、関係地区民との協働による撤去作業等を推進していきます。

【②リサイクルの推進】
◆常設資源物ステーション拠点整備事業については、平成25年9月1日に加積資源広場の供用開始により市内6か所で回収ができるようになりました。現状において施設数は十分であると判断できますので、新たな設置は当面の間しないこととします。今後は利用率の低い施設について、利用率の向上に努めていきます。また、回収実績の少ない地区資源物ステーションについては、関係地区等と協議しながら廃止や回収回数の削減、又は利用しやすい施設とするための対策等について検討します。

部会評価 (協議結果、今後の方針及び課題等について記載)	施策の重要度	一般
	<p>◆分別の徹底やリサイクルの推進を理解し実践されるように周知、啓発に努めていくこと。また、ごみの出し方ルールの徹底等について周知、啓発を図ること。</p> <p>◆利用率の低い常設資源物ステーションについて、施設に関するPRを進め、利用率の向上を図っていくこと。</p> <p>◆不法投棄対策については、引き続き地域住民をはじめ、環境保全団体等との連携による監視活動や除去活動を行っていくこと。</p>	

経営戦略会議における施策の課題及び方針	施策の重要度	一般
	<p>◆3R(リデュース、リユース、リサイクル)に関する情報提供や啓発に努め、ゴミの発生抑制、減量化及びリサイクルを推進します。</p> <p>◆資源物ステーションの利用促進など、資源物の効果的、効率的な収集体制を構築します。</p>	